

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		養護老人ホーム入所措置事業		担当課	介護福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成 5年度～
	施策	高齢者福祉の推進		種別	法定事務
	基本事業	高齢者福祉サービスによる支援		市民協働	
予算科目コード		01-030103-03 単独	根拠法令・条例等	老人福祉法，老人福祉法施行令，老人福祉法施行規則，守谷市老人福祉法施行細則	

なぜ、この事業を実施しているのか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
老人福祉法において「65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホームに入所を委託する。」との入所措置が定められている。	対象者の実態把握に努め、心身・経済状況、家庭環境を踏まえた具体的処遇方策の確立を図った上で、適切な施設への入所措置を行う。 入所措置を適切に行うため、守谷市老人ホーム入所判定委員会において、措置要否の判定を行う。 利用者の負担額は、前年の所得により決定する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
65歳以上の高齢者で身体上、精神上、環境上の理由及び経済的な理由により在宅での生活が困難な方の安心安全な生活の場を確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
高齢者の日常生活における負担が軽減され、安心して生活ができるよう支援する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
老人福祉法に基づく事務であるため、市で主体性をもって実施する内容がない。	介護状態が重くなり養護老人ホームで対応することが難しくなったことから、特別養護老人ホームへ入所することになったため退所した。（退所者：2人） 日常生活動作等の状況について、本人及び施設担当者と面談を行い、措置継続の要否を見直した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
入所措置人数（人）	8.00	7.00	6.00	5.00	5.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	65歳以上の高齢者で身体上，精神上，環境上の理由及び経済的な理由により在宅での生活が困難な方の安心安全な生活の場を確保する。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	環境上及び経済的理由により自宅で生活が困難な場合，養護老人ホームへ措置して安定した生活を確保する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	20,060	16,685	12,070	15,679	15,679
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	15,679	15,679
	一般財源	20,060	16,685	12,070	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	130.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	533	0	0
トータルコスト		20,060	16,685	12,603	15,679	15,679

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		ひとり暮らし高齢者乳製品配布事業		担当課	介護福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成10年度～
	施策	高齢者福祉の推進		種別	任意的事務
	基本事業	高齢者福祉サービスによる支援		市民協働	
予算科目コード	01-030103-04 単独		根拠法令・条例等	守谷市ひとり暮らし高齢者「愛の定期便」事業実施要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
ひとり暮らし高齢者が増えてきたため、安否確認が必要となった。	ひとり暮らし高齢者の内、ひとり暮らしに不安がある方に対して、申請に基づいて乳製品（ヤクルト）を届けることにより、高齢者の孤独感を解消するとともに安否の確認を行う。 乳製品販売業者へ手渡しにより配布することを委託し、配達員の声掛けに応じない場合は、安否を確認し、必要に応じて緊急連絡先（家族、親類等）へ通報する。 利用回数は、月曜日から金曜日の内、週2回以内とし、1回の訪問で2本届ける。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
65歳以上のひとり暮らし高齢者を定期的に訪問することで安否確認及び孤独感の解消を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
高齢者の日常生活における負担が軽減され、安心して生活ができるよう支援する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
本人及び家族に制度の説明をして目的を理解していただく。 配達日に事前に予定がある場合は、市役所へ連絡していただくよう周知する。	不在の場合は、緊急連絡先の方（家族、親類等）やケアマネージャー等と連携を図り、対象者の安否を確認した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
安否不明等の連絡件数（件）	83.00	83.00	53.00	80.00	80.00
家族等に緊急連絡が必要になった件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	定期的な訪問により、安全を確認することができる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	安否確認をすることで未然に事故防止を図ることができる。 PRに努め、利用促進を図る。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	1,037	988	888	1,086	1,086
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1,086	1,086
	一般財源	1,037	988	888	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	36.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	148	0	0
トータルコスト		1,037	988	1,036	1,086	1,086

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		ひとり暮らし高齢者緊急通報体制等整備事業		担当課 介護福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間 平成 2年度～
	施策	高齢者福祉の推進		種別 任意的事務
	基本事業	高齢者福祉サービスによる支援		市民協働
予算科目コード		01-030103-05 単独	根拠法令・条例等	守谷市高齢者生活支援事業実施要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
ひとり暮らし高齢者等が増加し、急病や事故等の緊急事態時の連絡体制の整備が求められていたため開始することになった。	急病や事故等の緊急事態において、緊急通報のボタンを押すだけで、常総広域消防本部へ通報される機器を設置する。利用申請時に、家屋の見取り図や地図、医療保険、かかりつけ医、親族の緊急通報先などの情報を提出してもらう。利用者の情報は常総広域消防本部と事前に共有することにより、緊急時には即座に対応できるようになる。機器代については、利用者の前年の所得に応じて利用者負担額を決定する。なお、設置及び撤去等の工事費については、利用者負担とする。2年に1回、電池交換及び保守点検を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
ひとり暮らし高齢者等の急病や事故等のため救助を必要とする際の消防署への通報体制を整えることにより、迅速な対応を行うことができることから、在宅生活での不安を解消する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
高齢者の日常生活における負担が軽減され、安心して生活ができるよう支援する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
緊急事態が発生した際に素早く通報できる体制整備及び機器の管理を行う。	電池交換及び保守点検を実施し、機器の管理を行った。（隔年実施） 消防本部から電池切れ等の通報があった際には、対象者宅へ訪問し、機器の確認及び通信体制が正常であることを消防本部とテスト送信の確認を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
緊急通報利用回数（件）	9.00	10.00	4.00	10.00	10.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ボタンを押すだけの簡易な方法で消防本部へ通報できることから、ひとり暮らし生活の緊急時の不安を解消することができる。 緊急時には即座に救急搬送などの対応ができる。					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了 緊急事態に備えて機器を設置することで、ひとり暮らしの不安を解消する。					

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	520	428	322	496	496
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	496	496
	一般財源	520	428	322	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	83.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	340	0	0
トータルコスト		520	428	662	496	496

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		軽度生活援助事業		担当課	介護福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成14年度～
	施策	高齢者福祉の推進		種別	任意的事務
	基本事業	高齢者福祉サービスによる支援		市民協働	
予算科目コード		01-030103-11 単独	根拠法令・条例等	守谷市高齢者生活支援事業実施要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
日常生活上の援助が必要な方へ家事支援を行うことにより、心身の負担を軽減するため、介護予防地域支え合い事業の一つとして開始した。	洗濯・清掃・買物等の軽易な家事援助を行う。 守谷市シルバー人材センターへ業務委託し、シルバー人材センターは、ホームヘルパー2級取得者を派遣する。 利用時間は、1週間（月曜日から金曜日）の内、2時間までとする。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
対象者は、要介護認定を受けていない①65歳以上のひとり暮らしの方②65歳以上のみの世帯に属する方とし、自立した在宅での生活を継続してもらうことを目的とする。（ただし、市町村民税が課税されている方及び市町村民税が課税されてる方と生計を一にする方は除く。）	
（参考）基本事業の目指す姿	
高齢者の日常生活における負担が軽減され、安心して生活ができるよう支援する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
利用者負担金及び対象者の見直しを図る。	利用者負担金の見直しを行い、1時間120円を240円と増額した。また、利用対象者の見直しもを行い、利用者本人が市町村民税非課税であっても生計を一にする者が課税されている場合は、対象外とすることで、低所得者に限定した事業とした。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
利用者実人数（人）	15.00	27.00	18.00	19.00	19.00
利用時間数（時間）	1,980.00	1,544.00	967.00	1,368.00	1,368.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	家事支援を行うことで心身の負担を軽減することができる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	引き続き、自立した生活の継続のため、家事支援を行う。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	2,637	2,087	1,307	1,850	1,850
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1,850	1,850
	一般財源	2,637	2,087	1,307	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	27.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	111	0	0
トータルコスト		2,637	2,087	1,418	1,850	1,850

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		寝具洗濯乾燥消毒サービス事業		担当課	介護福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成13年度～
	施策	高齢者福祉の推進		種別	任意の事務
	基本事業	高齢者福祉サービスによる支援		市民協働	
予算科目コード	01-030103-12 単独		根拠法令・条例等	守谷市高齢者生活支援事業実施要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
寝具の衛生管理が困難な方の在宅生活を支援するため。	寝具（敷布団・掛け布団・毛布）の洗濯・乾燥及び消毒を年2回実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
ひとり暮らし高齢者や寝たきり等の理由により、寝具の衛生管理が困難な方の在宅生活における清潔で快適な生活環境を整える。	
（参考）基本事業の目指す姿	
高齢者の日常生活における負担が軽減され、安心して生活ができるよう支援する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
制度の周知を行う。	利用者負担金の見直しを行い， 1 割負担から2割負担とした。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
利用者数（人）	48.00	32.00	14.00	18.00	18.00
申請者の利用者率（％）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	寝具の衛生管理を行うことが困難な方の支援ができる。 利用者負担金の制度の見直しを図った。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	■ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	清潔で快適な生活環境を整える。 今後は、近隣市町村の実施状況等を参考に事業の必要性の見直しを図る。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	194	170	55	186	186
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	186	186
	一般財源	194	170	55	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	11.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	45	0	0
トータルコスト		194	170	100	186	186